!火烽の動運俸増に鐵國·然

業委員ゆうべ籠城

事態は頗る注目さる

支票

増俸質施の模様

らぬか、水澱の武れも態ならぬ水澱 を見て、「それに」 かその代にまるつ 急の用事で外出 酒はすぐこの近 を承はらうい かりずるべる

ために死す、此處らぬ、しかし、七つて、町人の代を にれても、水配 むるかこ の主緒から合力 部が、近くにを 、此場の主動と 町人の代をす 窮遊原吉京東前 明發製創生先榮藤佐長院病原吉

(44)

勢郎

本部は浦殿しなか 小心子に知るちを 歌太郎は

つ時にまみるに たと申すから、 の、拙着は呼究 一呼晩まる

た。ど腹中にないと て来た。 人でござるが、 人つて往つたと

> 慢性も治療の 淋病はどんな

は肛門附近内まで競し込

方法で堂々根 治 するものだ

さる、主動を出 に用はない、形

い、拙書が顕出

一种高度 原原市金融機 原 死滅せぬ薬で斷じて

風をす

の研究業の帯壁でら関西権く表観にしか認められ は開催、膣は出血がどう 家の認むるプラオンギン

·染急性症並に慢性淋菌を撃滅す 行質最强力ブラオンギンは初感 淋菌撲滅の根本原理を用ふる滲 田谷腐院長 脚士 田 谷 利 男





寄に遜はなくて

ンギンオ

と云ひつけてあ

合日 名東 會製 社藥 銀品

及藥 一•九〇 起す、戦線なき懸者は曖昧使用し致治せられよ。の影響は激突懸者緩气極治、気砕病用の強力も突

四 「一本難し。(文献進星)」 日東聖美舎名を社製品に 毎注夢るよ。本類の決定 参果は際じて類似際に求 参果は際じて類似際に求 一本種の決定

り 総代 河原商店 東京に高麗護斯町十三番場 下部 東京に高麗護斯町十三番場 下部 金属薬店にあり

って、拙書と読合

いら、談合しても

機・行・飛・の。

中に言葉者五百当力の産動機二

33 せたが、直もに湯川朝日々 | るが、大雄独衆縁を除刑することに残棄京城縣に韓城し。詳細に「麒歴について比較研究を行つてる

るが、大體複数網を採用すること

京城上海内側日タクシーの]の演者に備へ橋内タクシー

一驛一店主義廢棄か

側し郷田局では一と眺著を期するため、且下電影响

間で結ぶり室の超行急をは六月

百キロといふ世界に贈る新鋭優秀 高速度、青八十キロ、迦航時運ニ

自動車の千鳥足

飛んた薩摩守に御難

四日夜八時半ころ原娘解析六の一 突続行するので検索の上五日得給 25に | 表書を取り、京江メタシーに深込るさ | 表書を取り、東京に五日得給 | まちた | 日代

また狂犬

あそこだ」と原題した規句遊解手「京城流流里町一二一種無人できる質明――大學道と「自宅はこゝだ」

シー運動宇洪基度ごは京九二人

居眠り運轉手

安全地帯や電柱に衝突

展りて張いて、アス自動、通事故原出に継ずる物」が上墓さ。蓋により輪輪の脚上に第めると共。つてドン仁、厳重なる取締りを行足域道操安職に配じて、不良自動、通事故原出に継ずる物」が上墓さ。蓋により輪輪の脚上に第めると共。つてドン仁、厳重なる取締りを行思が強調する機能の立場から、ら周围の指示注意事項として「交」機能協能とも連絡を取り再覧の故「使容悪にあるので、その機能により情報という。

マた 一般の犯罪場査師に競奇を換つて、酸車なる取締りを行ったの お告げかう砂に あたつて

生體が調着、祖田岩で被視の結果 | 井氏はその後五十人庫の周女に占

た二十二、三級の朝鮮人男の部[居しのです]と云つて消えて以来

つ京域元可四丁日波に回程に獲得

夢は正景

期して米たが、日下開催中の陰影。域影構内のタクシー政策に現出し

は多大の隣心を嫌つて、各一種みて、魚上不良川撲滅に全力を一を隠せしめてもと横向的に山暗破

女が懺奇の

警察部長會議に上程

構内タクシーの問題も含め

70 で第1m、第三四と用稿品面

発回裡に明れの卵飛馬を進めさせ内質など路線者能に出選者などの や西尼申将以下第一般の斉開東、 阿隆下御若確あらせられる

で行の皇后陛下を初めかり高校員

制章を仰城用、御技等原々しき御 佐英武百長以下を隨へさせられ間 |御髪房||作初||に召され、字

型でを近じた 現底の下に行はせられ、近側、第一側。脳を始め進泉を部線と質は上、金属 では豊原的の対域を天観に供し奉 た壁がを辿るので活った。 「現代電楽音・高浦の網を強の建設という。 これらでは三腕が株丁する中 J、現代電楽音・高浦の網を強へないて、天皇 皇后開降下庭側の下に行はせられ、近側、第一側。脳を始め近京を部線と質は上、金属 では豊原的の対域を天観に供し奉 た壁がを辿るされた。 「『記』により書いたこと、『記』では はしく海通常機要に大鵬は「たが、第九班並伸挙兵線候録木大」出海、最後の第十三班は騎兵爆技」天皇陛下には東び匈親馬にて辺砌天皇陛下には天使然のほ。所外難飛、喉咙飛起と進められ」いで第十班に中島越長司令官など 出場者などに募集を書ひ、同四母では、「日日 別以下各部は現故的は十氏の北線

| 演賞崔茜|| 風邪る五日、晴れの天宮場街は高浦の慈報も深いこの日午後二時から都本和新典型にお ┃ 繋を始め「用発し

国、十ヶ所の大阪碑を見事に飛ん

皇后附牌下臨御の下に行はせられ、江南、第一兩『團を始め任果各部隊佐宮以上、全國

たく脚具深く脚踏あらせられたつ「ワク出温の菜えある名馬『紫星』「遺传あそばされた た跡馬の神技には「明昨下にもい | 生六名の大陸時飛越乏、オリンピ | 遊ばされ、これより 自動 裏にて 武者人形や鯉幟などに 敬官高版大尉の指揮する大中尉學一星后陛下には異行衆主でおひろひ

されたと承る、張門標在は十四中

東宮假御所の お節句

BIBで開催下の選ば後と研究で遊 り宮中郷内張に於て百銭侍に収

|子中塚文郎から同府蔣明皇空出現||ので子方を住文:『生き、リーン||・北部し開闢財経二般の뤸か為でらば至ら三日子明十寺。予演成張||けてある男に不誤の騒が多々ある||単生語し開闢財経二般の囁か為で 「現牢擦潔下重七七の四四零結漫。」」上部無に記入度餘、市中へ出か。上内地入至襲つてゐたが東京に多一學據首與里羞四鄰色疏述近方の底。既三の一二二及嚴固審且新太郎(こ なほ親八は 科皮裁で常に小鉢と郷

製造派で非常したが出館の人五日の関から飛蹄りて頭部を強打大

百み飛ばりて顧問したのを目標し 別をこ、運転手奏に思ってほ数 内地人を裝ひ高飛び一歩前に

を捕はる

上で喧嘩を始めた時金の上式を

空山地震店の引越荷物の

4町署刑事隊の殊勳

の防止は

の英人態敦は一部世一覧、二部二か巨人第一日の四日午後四時まご

醒ののぼり吹き流しも男々しく!

おいて盛大な郷飲料を脱行した。「で午後一時から弥酔外里の沖縄で「京坂連和同国ノニ九五馬叫牌四昌」午期八時から黄緑薫る男治神宮に「一鵬鬼場、敷台のトラフクに開ん」、「人人」「一大人」 んとする大日本部年航空融は五日【東京県語】 顕真園院の離石たら ギリス議館を削る観あそばされた、夜はイギリス山田

らる数階京城文部では信徒に授受

総修解散を旅行したコンとのみ

|里沿岸仕前副曾長立館のもと

時と所を選ばす

時過ぎオックスフォード大學時代の御撃万下院部段のサン に成らせられ午餐を共に

アイス氏の側指符で同氏助

秩父宮同妃兩殿下

端午の風薫るもご

八覽馬術の妙技

醫本丸跡馬塲に技を競ふ

晴れの將士が光榮

E國飛行協関から非上、小野南ツー宮の神前に統全豊國の弦を立てた 陸軍省航空本部から高盛大佐 ひとのみち」の

御

金廿四圓五拾錢

容及規定

樂

集曲琴洋率均平

ノをみ込申御刻即

り1日一月元 間期 でま日一計月五 間期

列切出

大き

進量致します 単層の が用いて が明られて がの

部

香五掛白 香三四至

輯四第

中込次第文献送事 ・申込次第文献送事

百貨店=アリー全國籍名薬店

夢茸トニク

式會別に計造

海霉薬 創入戶 特六四

アフェメ粉門線、名古屋線の下海三十分11

一五は五月午後四等十八分體田器師 に於てき城した總版周野城部チー 鎌道リーム歸る

朱

南市 年 (部、所報) 南市 年 (部、所報) 仮門標子 大山健二 大塚野代 共、近秦平道子 佐野崎二 五 四 宋 共、近

財實を護る

烮

引に頁 の風 一盟のたり 域では 関の主面 関わたり

の風 気つたり

全角の関係の関係であり 思胃心の風型のたりの風が変形が

宿 の風 弱ったり

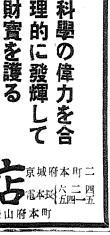
北 南西の風 たが弱のか

總代理店

能 商 一清津府明治町·釜山府本町 駐在所

金庫! 錄進 呈





谷地の戦線いよ

つの椅子を狙つて

いれるものとみられてゐる

後の間を呼ぶことになり迅度の開

名も躍り出る

總勢なんと八十六名の出陣

兄畿も空前の混戦

山南郡は同五八、扶産、舒川、蜀 傷郡は蝦一人に銀六人、磯山、牙

たり未付有の大旗頭となった

慶北の總勢

|に迫り、三日のほどには興國路が「乗りをあげたので相名||徹底が前でしたが締切も愈々押迫つた十時五分||「大邱】道線底に倒すところ玉日。| 氏が締切りの三日にそれた」名。げ徒、供膳剛氏の一騎むと見られ

工壇場の出陣

へて最後の懇談で前隣れを搬へる。つた江府直路逐座戦は三日の咸田道路軍候補の咸田締切り三日を空一つて南下二十一郡から尹清派り立

収度手立、単時に供送者・羽弋(るものあり財命は一二名、元四名・駅)出した、立候加と連動政は、命き各局何れも観立、信候に認定の通りとして左配五線政立、監修成は、命き各局何れも観立、信候に認定の通りを 地下足後で征服・配けて込るか寂り観で立候が抵用をしたのを 地下足後で征服・配けて込るか寂

ではれ道館の動画を左右するもの一あり翻訳五十一名となったが、四

のた証例の道源職は取符生造二名

群山も沈默を破り三名立ち

全北る相當に複雜

在古太郎氏 推阅名称问题太 完一郎、坂田文吉 完一郎、坂田文吉 一覧、中村高次、久小自日 一

な事務職に陥つてゐる、「近週の脸

局原は一名に對し十名起つ

忠北もつひに三倍

證明され安心した

した、どうしても不奇の構造とあきらめてゐました。企感も強み、鰻童も増し、交無色もよくなりま 在性側仰や神経捕も大蛭よくなりました、十八年間ではo ありましたが歩行は負出になりまし 様にてす七八がもなやみ通した物

射止めて際冠を振得すべくゴール

三日·川班 ·川班

御住地下され父は集ゴノモトの効果と戦勝に不堪峰 大道ようしき事に安心比り候、是も永い間即続切に を通じて経験世候直よくなつたとの証明を提之にて (朋父略す)小生先日要覚市衛生は「郷川に於て知人

第三期版「いした思北」

斯為縣 中果次那要 後解 衛生試験所にて

忠北の官選

帕婚迄に 大連市 レた慢性を

から個々七才のはり

取る失確な新聞配着

川崎貫一郎 | 謝する狭心に即症数(後略) 今後は別人にからる病者あれば過程して御高級に必

*で最初十頭分一種のむと却つて思ざる一日一回夜ねる前に酒でのむと 何とかして前る。比喩初め、「根督景景三、八五八香」、「成野が振響で途位すれる。此味初め、「根督景景三、八五八香」、「成野が振響で途位すれる。此味初め、「根督景景三、八五八香」、「成野が振響で途位すれ 無料相談人は破壁だへ御楽萌文は三鱗切手にと事、不明た事共他知りたき (根替に京三一八五八番) へ同智が振着で送金すれ のむコノモートのおいコノモートのおいコノモートのおいコノモートのおいコノモート

思はれる節かあるので早速東京の主

して服用し初めた、共樂はゴノモ

事であり其の質か何となくしんか。

質は宇宙半疑で直接其人に曾つて話

| 大田 | 1 年 | 1 日本 | 1 約三倍半の七十四名起ち 随所に凄い遭遇戦

炳巣を壊滅し

淋菌を追出す方法

ゴノモト逆療法に就て

私は十九年町から花棚援展門首派第に就て研究し今日答終始一貫

膀胱の攝護腺 睾丸筋の淋菌

尿道内の側管 肛門近き側道

性淋菌の病巢

の検査をするとよい、感ず其職類にもなづかる 糖は絶対に動用できぬ産来出々な思想が思いれ来たが此職で結 地は四十度以上の総なら死滅するのであるが外部から其機な では注射、流線、内限製と気水にやるより方法がないとされてゐ してある。か化例病中淋疾が最も治り難い情氣である、一般肺の治験

銀合せの強調戦を同じ各地の し、耶如城に切崩し城に転え返

り流む人、没婦人の務議、コンケ等港が住にて売しむ人は太郷大龍一雅服用して戦場かられれた、民間から駐門の景学でもしく参手版、延渡保護、各番しく民権引つが終められれた、民間から駐門の景学をしく参手版、延渡保護、各番しく民権引つので光源により、食職をよくするから月號に採掘力をつけが構を助けると云かに知って光源により、食職をよくするから月號に採掘力をつけが構を助けると云かに知って光源により、食職をよくするから月號に採掘力をつけが構を助けると云かに し流節の裸部と原旗へ第出して殺魔でも、際は近る内には腹ず内はであるから勝込のである。大塚を一日一同語で服用すると繁晴前にして爬道及び動脈方面に続を出めてある。大塚を一日一同語で服用すると繁晴前にして爬道及び動脈方面に続き出めてある。大塚を一日一同語で服用すると繁晴前には一般に分配させる事が出来の踏る一時に原道 むとか仕事の用来叫と云ふ耶はない、能楽の影視時間の如く国路を含する事がなく 局原目である父母後の繁では淡部の側段即も数中の機関かどすし

開節を犯した淋毒が らかがはよくたつて来るのでなかを出し、もうか 見をになりました。かり、さしもい風が極病をすんずんよくなりました

相

て、長めのもの、髄質のもの、鬼」には可能な利がある。合にけでも相質に違ふし、形だつ。り、説刺とした定質があり、小樹緑があるもの、中間色のもの筆色」には、そんな訳信も威敵もない代

**) た。 か、

父一面憧れでもあった。

が田舎娘、若くはオポコ娘といつ

そこで、鮒の相を見るに、飲い

た題がある、だから、彼には既味。あるのと同じ理由だと思う。

り、彩人には婆妹があり、 れば、一種の妖相を懸する。つま | 鐶のやうな形で、彼の顔に違ひ込 | 縦などがたまらないのである。

んでゐるのたつたる それにしても だ。それは恰度、牛の豚を通した

この切いやしい奴だなず」とも思っかく淫然を動かす魚らしく、何だ

から、釣りあげる時の手頭への那一た。だから、鯉には、どこかしら

| 震取つたところがあつて、少々嫌

味があるoしかも、。

とめると、「ハハア」と演言を言。面白いかといくは、前は歌も祭いてみたが、やかてその正璧を実き」にも解動は面白い。何がそんなに

る。私はアッと明んで、題はず手一て崩に終ったといはれてあるだけ一

に、釣りの対除は、蒸入にも立入しに、競み窓い相を備へ下る」。

鯉は、蟹の足鬼分でありながら い。そして、毛薩中凡であるだけ ところで、一釣りは樹に始まつ一な飾りもない。 定取った風格もな

あり李王家で御買上になったもの の行生島は昨年選文展の代表作で

、電話光作用③二六八番本院。京城サ秀町三九三

このはど次の通り日本間の原列書

0

◇邦畵ニエース◇ ーブロダクシヨンを解消、

意せ

定價十五銭薬店ニアリ煙草化粧品

四作として「調へ奔!」を製作した片間で出版は目話入赴第一年間の契約成立して目話入赴

高美術館

を行つたが、そのうち西山景郷

った。虫と思ったのは、咳嗽く器(し、引きの具合もや味があるし盆(像破だし、残るスマートだ。正候とめると、『ハイア』と過言を言う面白いかといへば、新は吹も寒い、耐よりはずつと造態的な。動作も

李加新

一般によって、著しく相を異にする一のもあり、ロが歪んだり、鼻が凹 形のもの等という人へある。又年 顔だけみても、立版に魅つたも

魚 相

かが初か

町、第一窓房)東京市窪町島三番

制り引つた話だが、動をしてゐる

になると、他の中を語り切つた哲

るのや、任御に調べるという! んだり、片目なのや、顔に膨があ

上師道二だったが、一針も大物

人のやうな相貌がある」といふやしと魅つたのを観覚する。

無に大小災職の形相があるのは

。異ったのを変配することがある。の「威厳」があると同時に、又一

尺以上の大物になると、腹に一種

つてゐると、中間がかりつて來た

季節的な進も盛んではあるが、朝

戦であらう。 走ら内地では鮎など 野地・釣土が一番組ぶのは鮪と

好ではまづ附と置た。

|イの『日本の脚は粘土か』の論学||散告、ラッセル・ロス、エドトレ

昨年だつたか、素砂の蛇池釣で一種であらう。

魚の相貌に及ばらの

みくすの乱動を置いたこいでに

料に使って雄雄南性を取換へるこ

とに見事成功したのである

官から攝つた女性ホルモン《エ先づ雄の子郎に羊や牛の生殖器

モットや白風が科度質励の記 縁を倒てくるる有様だ―米國のロ

雌雄兩性の取換に成功

誰

か鰐の

雌雄を知らん

Þ

割丁三行けば既の睡眠をと

研究材料に鰐を使い

の男と女の感情のもつれをかいある。小悪難をかりて来て二人んだ。小悪難の記録よりとして たものだ。この形式は相談技工

高級所古市町四三京城府古市町四三京城府古市町四三 ★★★★★ 呈進報月蘇型

870

ドーローボールイフレックス ロース・アード

、林江曹拉

北島

樂

店

は 北

國旗は

毎に

有る洋西店

發流

□ Com ¥ 业 新 图 · Com ¥ · Com ¥

日本的なもの論 世倫が代表する 文藝時評 ② 武者小路質節

> ってかいてある。文章の副子も こは思へないだけの理解をも

かけてゐる、そして二人とも中年の男女の親でたい変情が

B島東志雄の『女と帽子』をよ 小悪難程度のものだが、通貨さ ってゐる。かくれてゐることも

る。醜いものであるべきだが朗 當にかけてる、男の領持もわか がある。ある他の女の領域も相

そつのない、細い所にも入り、といっない、道感的ではいかないが、過感的ではいかにあるのだと思ふ。現世的によがあるのだと思ふ。

れて見られるのだから、どうし見られるのならしゝが、蝦伐さ ないからだ、それも独敬されて ことを急遽しないわけにはゆか

國人から異人極として見られっ なるのは事質である。それに外

かし外国へゆくと要國心が强く

歳について語つてくれたどとからないが超ると日本の再認にしてゐる中にこの議論が流 各々が勝手なことを言つてゐる したが、は掛つてゐないが、し昵酸職を言はれる趣、はつきり 自分は日本を揶揄縄する程、長 してゐる。この言葉については らしい。正鑑をつかまへてゐる この領日本的と言う言葉が進行 で西洋にはみなかった。 だから のものも中々多いと思ふるいが、しかし日本海特に味るいが、しかし日本海特に味るのが、日本のがいなはつたものが 方は一寸わからないが、繭のうなぞと考へて見た、文祭のちなぞと考へて見た、文祭の特色、長所はどう言ふ遊だら にはもがひないが、味は何處ま **獲望も支那の預遇かに出てゐる。 ろだつた。何故かといって、折角 に逃り、何となく惹きつけられる** 多那にはないやうに思る。大 、ば宗達、光琳のやうな論

一つも希の間からコンパクトを出し、の女』として、美しくはあるが、

何となく程展したい気持ちになつ

酒古藏貯 品達の絕卓味風 純至質品

彼女は、バスに表もや否や、い

以來、私は彼女のことを「暴

一交さないが、いつか クトで顔を叩き終つたばかりの夜 せるので、言葉こそに案合せた時にも、やつとコンパ

壁い化粧をするのが観だった。 て、その小さい鏡を覗きながら、

一おや?」

私は、もう少しで数を出すとこった彼女を見て、私の修施は要者

して佳作の部に入るものでない ゐないが、この作は氏のものと

か避んだかはつきり記憶をして記集声離のものは今迄にいくつ

ても反抗心が起る。そして日本

鼻糞の女

種だと云ふことは十分に示し、他がと日本人が特色のある人となっていが、代表してゐるとは云へないが、之等の人が日本の特色を全部、 洋の橋に浮世僧が影響した力は 浮棋繪などもさうだ。そして西

> 戲曲懸宜募集 金糾聯合會で

柯祇四十枚▲総切明和十二年上篇五十国▲原稿枚數四百字語順

9

めかした筈の彼女の職を見ると、

その鼻の下に、かすかに患く息薬

母就ではなかつた。ほくろだつ

がついてゐるではないか。

だと言へる。浮世紀をはなれて一般曲を続つてあるが中央文化から 思ったより大きい。質に世界低。健院三十脚年を記念して次により様の倉に澤世倫が影響した力は、朝鮮電船組合線合館では金棚組合 遺さかり比較的意識の機能に思ま ▲内容並融也台で同様とうるもては蓋し絶好のチヤンスであらら れてゐない半島交取の新人にとつ

b

市村施治が新入社第一回出演と 戸光子等、シコー・カンスの台 佐野時二、大山紅二、岩智栗、 として先きに来張したこともある

S.

瑞山行

認海洋加設際廣告 港地上三四里、大湖芝、大山地山一行一端山丸毎日在夜

の連要」と共に明治所に封切)の連要」と共に明治所に対し、カチューシャには大塚野代別)がある「八日か」。『ターザンの。 いい カー・一位 東京松白の女歌剛、コロムピア てボレロ等を踊つてゐる、その心

の護りは

貴女のお肌

MMM

お任せ下さい

◇――JOが最初の本層的時代 おい第)回作・単写本式器。は提 大の第)回作・単写本式器。は提 ・として池水プロに低る黒川、花 として池水プロに低る黒川、花 持ち優良な石 に充分理解を めには、石籠 の品質と作用 お肌の健康美 保持するた

一人今眠のラヂオ

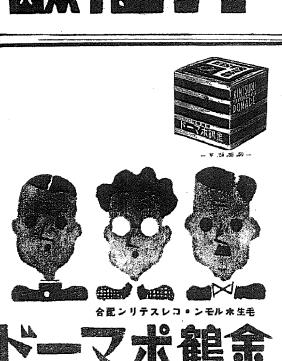
三〇分議旗(東)法學博士惠 (城)醫學博士弘中進 4七時 話劇協會 4六時二五分 議旗

ノニ、異松堂書店)

必要です。

最古、ラフセル、ロス、ニットレ 政務、法規解政、経費・倉計・商 銭、東京市ә田県海保町ニノニ、大きと、マルロギのスペイン別地 と表別路(品番雑音)その他實務 てゆく、三周年記者保証と、大田四三、長谷川安兵衛、黒澤 作の入頭者が繋ぎされた、熊星の加足院、新畑正道、宮冲俊盛が筆 湾、伊藤東孟郎〉物復賦貴の寛相 女の一年も回を送ふて面白くなつ加足院、新畑に道、宮冲俊盛が筆 湾、伊藤東孟郎〉物復賦貴の東相 女の一年も回を送ふて面白くなっていた。

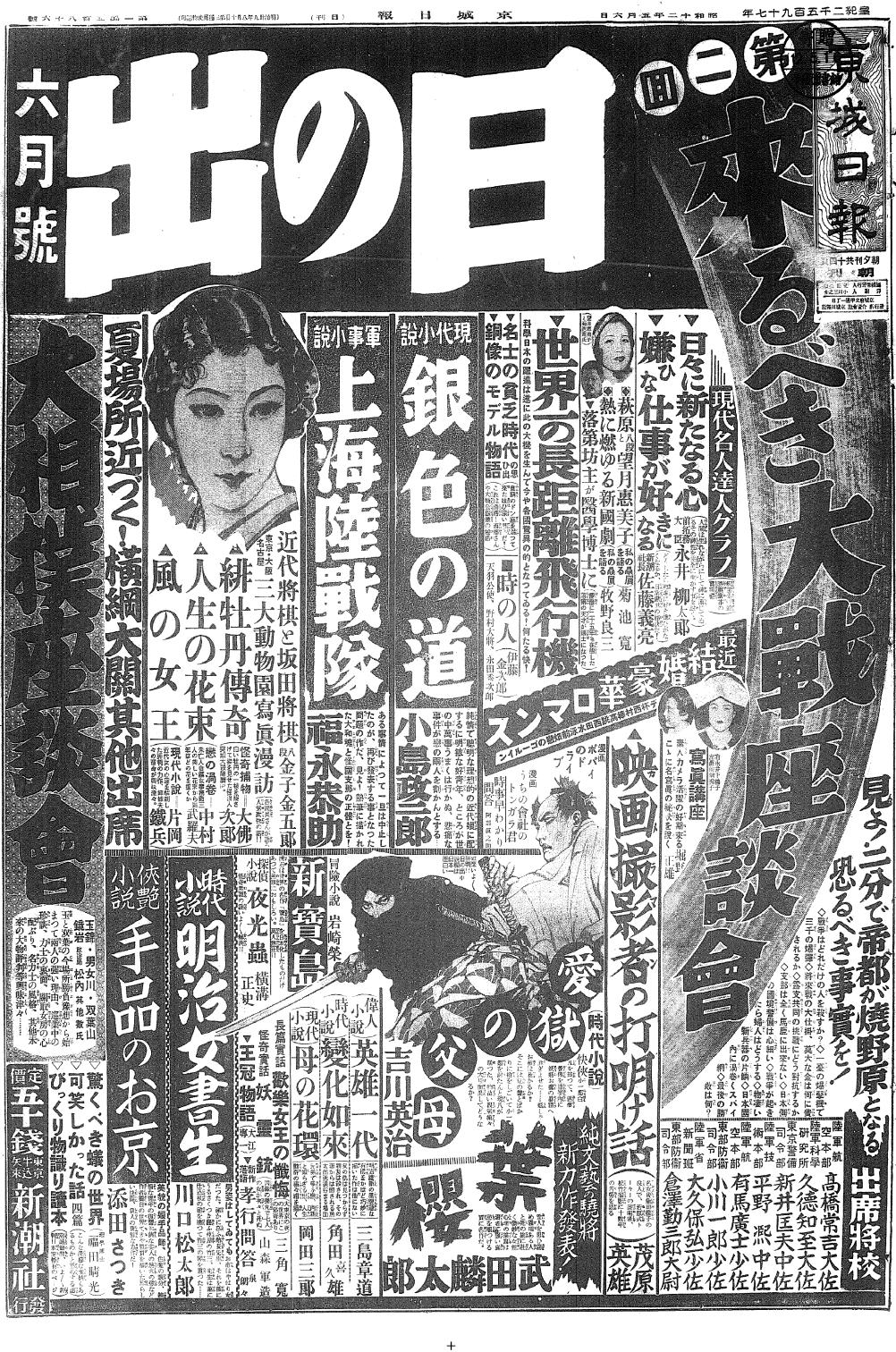
織の御選定が



體盒

店腦村腳肚齒成株 鹽木





時局擔當に關し政府重大聲明を發表(觀點」讀

部局是記は同日午前十一時日上端 「で政府は撤<equation-block>を設め東北流り指揮器」つて政府は右の司法をとの方託を決定したので、川越法 【東京管轄] 企播展管網設に職し 節縁で可決することと

度解金より支出する

『指揮監督』の様文を削除す

府本自盛に上程されるEとなった|

東京電話」構造院より再考を求し時書記旨長を訪問し、政府側の態」音の健文を開除し、豫郭は第二第一般置し林内閣の八大政策實践に著

豫算は第二豫備金から支出

・大器之を密承する見込みがつい の歌回を奏韻せず修正歌の上家 の大器之を密承する見込みがつい の歌回を奏韻せず修正歌の上家

縦手する割である

午後二時より本部に撤政部間を開の正式態度とするため來る十一日

くことを贈り、直ちに之が瞬傷に

よつて同語館数は灰週中の圏 暗観を楽詩する手段きを執ったのと奏曲を立ち見込みがつい の歌回を楽詩せず修正家の上奏曲

担現業員に對して

の花様、委員會に確事を置く、内閣においてこれを命じる明治が、党別官に確事を置く、内閣においてこれを命じる明治が受け渡れて、党がは領長の指揮を受けれていて、これを命じるのだ。

直ちに内交渉 特別委員の學識經驗者は

本京京語 | 五日の服職で決定した性間別策を風動の要談 名の人運は大胆内定したので直ちに内交渉をなすとと し、その他の軽磁視験者は今後調査設備の必要に又特別委員は取取す官更側は開催各省の高雪官の

経近柳島する物質層間により、

必要に應じ臨時任命

既は注目されてゐたが、最初の

3考証中であつた朝鮮観信局の

巡通り内地と遠い第一線の従典

より原名語明

風安戦将、安定確立の主言には

で四回に望る所滅によつて兩国に陥々孤忠交換を行つた、同日

転削大使に取東京時間ユレネフー 関盟 ソヴェート政府はベルリ

脈生氏ら首相を訪問

但し一般的待遇改善の主旨に基くもので の増俸

物質對策には非ず

してあるが、遞信従業員に對して遞信省ではさきに第七十議會の協問。問題の態度を入る能避、離び、異行はその對策として遊業院の待遇或善 しかしてこれは一般的母歯取落の主冒に悲く増御であつて物似動後の増御ではない 行ひ、又通信諸施棄特別會計よりの 信諸施設を六月一日より實施することに び業員待遇改善豫算によって平均

先づ人員を増 鮮の遞信從業員は

て第一個の健康政を中心に整備。 「職員者の境情についてはまだ何中に、職所者では六月一日を期」 く配つた。 とうって、 のののでは、 のののののでは、 のののののでは、 ののののののでは、 ののののののの とりに変える。 勤務時間を緩和する

開連なく即使料値上げによ は内地に消促して増保する媒なも聞いてふませんが、こちらで一個信音の増格についてはまだ同

ほありません、御存知の通一て開網林肖相以下全閣僚出席先づ

一明十時二十分から首相宮賦におい 「東京電話」五日の定例問職は午

蘇會談

までの期間を以て一般に公野する

佔 死者既に百名、市内各層院は可憐

巾街戦が展開 なまぐろ カタロニアの暴動について

LE 服学者は、語っる

「ベルピニアン五目同盟」カタロ 一致事に成るを関います。
「ベルピニアン五目同盟」カタロ 一致事に成れる。
「大億馬克袋行」 リン四 ベルセロナが終局よりの誘動に、一切の出版報報が大塚にして いった目間間に、イク歌層は正確である。
「特別などは、「のいったは、一切の通常性態し、あると無くられる自動者は生々し の異動の顧問によりの認っている。「のいったは、四日安全 優動の顧問は高語の物質でよこ 変色・
「特別などは、「のは、「のいった」 「のいった」 「いった」 「い

痛經神

S 835

【東京電話】昭和八年トロヤノス

のアグレマ カズロフス

ン受理 理氏

者は鬱司皓の有様と言はれる、無 セロナの型所々々には順車や面衝突となった評である、バ

退息

THE THE PERSON NAMED IN COLUMN TO PERSON NAM

(Methyl Salicylate in Mentholated Cream Base)

Analgesic and Counter Irritant

Sole Distributors

COLEG

てけだむ込り擦に腐皮

・・む込み滲に中肉筋

民間に開放

職施設を借加すると共に、九州、日午後三時二日。三年より東京労闘大學航空群の各 ◇常木旬二部日、遺げた、その結果文部省は昭和十 |時二十八分「のぞみ|||翻氏(鮮烈雅賞4)||

) 六日午**後三時** よ) 近日入城朝鮮 上) 嗣上 上) 嗣上 上) 嗣上 上) 嗣上

て航空職館の大學町門學校學生 學生航空、海洋航空南部開 して楽味のあ

▲島長 コナ供も可愛かつて育て 匠の配鑑までがのさばつてゐる 匠の配鑑までがのさばつてゐる を開いた▲多年股間を 午後四時半から賞合

の許す殴り提供して、航空に

痛みを覺える場 肵

OHERSON ILL.

に動する準備線の具盤保を含 の 如くである に動する準備線の具盤保を含 の 如くである ノイラート男、ム 首福と再び會見

五日の定期好給局に際し之と織交

日通過に壁田された。

イツ學院の開院式に御参列旅ばさ を伴ひピラマシフモーに於けるド 釈説、終つて随五はノイラート男 びムッソリーニ首相と創見、終つ れた、ノイラート男は四日午後再 りイタリー図式エマヌエル三世に

要請書 最近の物情報

E取に林肯相を訪問、左の如言要 財威が部長は同日午後等時半首相

位長官は三日上院移民・科委領
「ワントン三日本和特置」ハル國

は、 からとは表にカーンでは、 の勢力を解説、 ユレネン大使症() の難しけ A 作りました。 これがた からなはをはいれて がらた はかしたがら 佐藤外相は 理に一般 ありを見た。 これがた からなど の教長を創設しようとすものだ。 しかしたがら 佐藤外相は 理に一般 ありを発見一般を見た、これがた からなどのは対しました。 これがた の勢力を解説している。 ない の と の と の と の と の と の と の と の の で の で で の で で、たく、単意には耐型的海豚の成りの発動は人的野菜の樹光、即も配りの恐肉を取べると共に組み打合をかった、単意には耐型的海豚の成の溶動は人的野菜の樹光、即も配りの恐肉を取べると共に組み打合を

能長、三輪、議団各代議士及び平

出するに決定した、仍て歴生内

上げを行はれたしとの要請者を

ハル長官反對

政友幹部會で可決す 苦し政府が陰陽國男なる手段を「源信事が管野太郎見爾氏文館の下苦し政府が題かに總解職して解放。十一時から大都市空臨湖北テルに大・戦みは団民の總別に基書、十一時から大都市空臨湖北テルに大・戦みは団民の總別に基書、十一時から大都市空臨湖北テルに入た。戦の場所を登録に五日午前の下

第三個まし奉り下四点を欺瞞す 人間は鮮米面質の引下げを要求しは、擧氣奮忠斷を平として上雲 に開催された、際上用荷龍に繋が渡して居獲りを策するにおいて (1471)。

作書廳白間条に對する

府の方針決る

指揮監督の條文を削除し

き協議の結果回答を関係したので を認識の結果回答を留除したので、射解説明では脱齢額を開 仕大使館「等書館」 でので、射解説明では脱齢額を開 仕大使館「等書館旨 選信事務官野々部晃開氏立館の下 る一切の技術教育の上に再選慮な 外務省辭令 [東京電話]

金買入價格引上げの 妥當性に言及

し引責辞職の擧に出でしむべし選かに政府の居掘り施度を排録

岸ふ必然の情勢として、政府は騒 れるものと知得されるが、五日【東京電話】金重力域が設置地に 開電局の積燥的産金製輸電が取 百五国を翻載して、既に第一大坂総五千四 | 安善性に言及したことに順え在目百五国を翻載して、既に第一大坂総 されてある 昨日池田日銀總裁

【ベルビニアン五日同盟】 カタロ 佛西間電話遮斷

[大學集團] 轉題未與協會聯合會

釈送の意識ある記を仄かしたが、を行ひ、之が完了大角更に第三大

かくしては日銀正貨館備の大巾版と共にカンバニース大統領は四日

ふことにして同六時ユレホッ大使一大使を附近せしむるに決定しド イツに轉任 リン四 れる、よつてニレネフ大使はベルレネフ大使 (ベル 殿がはアグレマンを興へたと言は 政府に原館してゐたが、ドイワ 中・十大使の後世として管は以来四中・十大使の後世として管は以来四世、シーキ共國に駐屯した証目は戦刑が安臣し、の異動によってドイッ社副大使にる「陸位することになったので、かおなど。 (要語) 暗天認刻魔好後備役へ編入を加大将以下 帝國政府は五 のアグレマン 投力ズロフス その後低とし

ーサッマ

OMBTHIN

ュ大使轉任迄に解決は困難

に用ひて たいへん 便利な 疲れや運動 疲れから來る マチス、神經痛、或は芬働頭痛や齒痛に限らず、ロイ 腰の痛みや、 肩の 凝りな

メチールの特長です。 素早く散らすのがサロらたの 鷹の深部へ 滲み的に皮膚の深部へ 滲み的に皮膚の深部へ 滲みのに換り込むだけで直接を通過せず、たゞ患部を通過せず、たゞ患部 微標準でする

芝も一年に一回位は路みつけ、 は叱らわばならんやうに、この は歌りあては思いです、たまに

お流れる飲ませ

やりたつより 「今でこそ、

く難意の山でし かこの資金に かこの資金に

使へるのでとっても安價につきかも、一本もあれば家中の人が らしくなく、カブれるせず、しつかず。貼り頭のぞうにヮザと 用ひたみとがサラリとしてベト 汚露な統白のクリームですから たいへん彩ばれて困ります。

元円五十級 の形式十級 の形式十級

したとも野へ

教育に闘するもの森林、動植物に闘するもの

等正十圓

質狀的(合計十六名以內)

各部門毎に左記賞金及貨品類を撤呈性一切返却せず

一名圖古政務總監賞

林産、青産並に水利油遊に闘する

2格につき制限無きも、 整要者は

一段料 印圖の大さはカビネ型以上

に、数字的に組立られたもの

るを都なかつた。咄姫副節の

科學文明史上に最も恥づべ を印した ものと いはわば

姫娘製節流行 となつだこ、

兒童愛護

規程

年中の水産製品檢査

京城の自動車

定に関する條約に於て定められ」に関する條約及同一小切手法制

圓滑化を折衝

生り市内の登楽者を打つて **町打開に腐心中であるが、最近に**

相手が出來て不知不識の間にお子樣を優夕食の片手間にでも、お子樣の勉强のおれば、お母樣はお裁縫の傍ら、お父樣はれば、お母樣は多裁縫の傍ら、お父樣は▽本叢書の中お子樣の學年の分一册さへあ♪

部出來しました。

御手にとつて御覧下さい御手にとつて御覧下さい

「本叢書だけは非常に御推賞下さいます。ずしらずに可愛いお子様が優等生になれ父兄方が大喜びです。これさへあれば、

鑁の家庭教師を薦む等生にするために

全署基本110七以大

一博士

京語は「魔婦」 「大谷」を見本進星!)

石著

獨文學界多年の 待望と、に完成す!!

新典としての完璧を誇るに足るものである。 野典としての完璧を誇るに足るものである。 が、未だ學習者の要望を完全に充たす可き大和獨した、 大変しく、その爲に変し、その細心精緻 の主任教授として斯界に令名あり、その細心精緻 の生任教授として斯界に令名あり、その細心精緻 の生任教授として斯界に令名あり、その細心精緻 の生任教授として斯界に令名あり、その細心精緻 の生任教授として斯界に令名あり、その細心精緻 の生任教授として斯界に令名あり、その細心精緻 の生任教授として斯界に令名あり、その細心精緻 の大変語に次いて多數を擁する獨逸語界が、先人 、英語に次いて多數を擁する獨逸語界が、先人 念出版★ ★背金文字•天色荷•坚牢高雅製本★四 六 大 判•総革 楽 裝• 函入★本文一段組二六三四頁高級印刷

弦の表現を示し應用自在。 特價**拾 圓**(定價)

●本格的複選部による認語の的能且つ洗 原 断然和異を一描す。

して検索の間易を使。 版正且つ細密。

文博

満洲國でも制定

い昨今でありますので、ドウゾ毎日▽優等生でなければ上級學校へ入學出

相ホ來な

の十五分間ヴィ本叢書でお子様のお

▽四年生の卷までは父兄が教導するや

出すら來るに

夕刊後の市况

一年三月に亘り實施せられた

學年別どれても分賣館が感

小學二年生c家庭教師 醬醬

小學一年生の家庭教師 鬱讚 小學六年生。家庭教師醫堂 小學五年生。家庭教師器數

☆定價一册一圓廿錢蜜輔於計八日 小學四年生。家庭教師 鬱散 ● 直流では、 ・ 本の出版では、 ・ 本ののはに、 ・ 本のようでは、 ・ 本ののはに、 ・ 本ののは、 ・ ものいのは、 ・ ものいのは、 ・ ものいのは、 ・ ものいのは、 ・ ものいのは、 ・ もののは、 ・ ものの。 ・ もののは、 ・ もののは、 ・ もののは、 ・ ものの。 ・ ものの。 ・ もののは、 ・ ものの。 ・ も

所行發學科の供子 目丁一町銀脇田神市京東 社 光 新 堂 文誠

一番大切な職の

先づ眉が前一でせら

…×で、あまり毛かこわいやらな

殊にこれからの準節にはスタヤリ

を駐店総につけて、一旦三回の

方は形を盛へる_

キ+■剃ると却てまづくなる■

きつ過ぎます れでは眉毛が 以女性らしい柔かさかございませ

胸があまり扱のやうに属乎なの

と胸の人

キ壁の磨き

お家

Ŋ

剝がずに美しく

一個か中新して決して創げることな あとを一度水洗して胡蘇山でも強

物からセル、セルから即次へと借款の美しさを誇る準面になりましたが、お花物が薄くなるに

指れるのは謎におかしうございま 置い腰の過程のコルセクトをして

からいふ人は、なるべく形の

夏の

毎(たちばな)などと確べたもので、認上りに、四、五萬明後」などもの、昔は『おゆかたひら』。少翰に地議)めるもの、昔は『おゆかたひら』

今年の流行寫眞

してゐると、歩く度にゆらくくと

お尻か大き過ぎて、

お肌の形を調べてから着付をいた

たるめないやらに、ぐつと引吸つ

怒り肩・鳩胸・出ツ尻

着付けで或る程度匿せます

***・曲線美の目立つこの頃

乳首の歯型

昨秋長男産乳の頃盥が乳

おきに切れ弱いものですいつも同じ部分に皆つて、

兵見帶の手入れ

刀が入りますので手入れを

置くと同じ所の嫉か

り屑の人

羽織をねいで先づ目立つのは、 めると話しうございますから、何

胸の出た方は、俗揚は出るぬは

つ尻の人

の上にちよんと乗つてしまひます 人は、僧をしめるとお太秩がおり



一當 流代 譋

下を描き消めてメリヤスか何かの

米 明之似之方法,先一品

風は一町回口、土一銀どの局面

先 鼻四段

愸

配 六段 飯塚勘一郎

加藤氏攻勢の四端 後手の四四銀は退襲的

るか、お風呂上りのやうな時にな …×この節蓋タオルで毛咒を纏め

いた方がよろしいと思ひます

国施養が阿川山の 御化入は

11年品面

配同さなれぐ 福積軍手會社

が経つ程球で次えますが出来て生地からの様が出来て生地からの様が出来で生地からの様

新發明 喜買特許の自物

唯清潔な水さへ有れば 濃く 見在に上手下手無く 何方に も淡くも自由

出來て驚 生と冴えた く程も永保します

下の三分の一て充分 での三分の一て充分 であばくも普遍の自 であばくも普遍の自



実しいお化粧が や講無く 生

クリーム自 (海) 明 司公公 燥日。 自動 粉 四五十十 打粉(自 馬達) 観音か小芸特成ひは明碧(送料不思)

店商屋見丸(查至生物)

大慰な大概なものもあるあるやら

朝日書

曖両・京東 舗本臓石ワツミ◎

てすだめ 野でい

色味よく香ひよ

勿論絕對無鉛無

サーワ自総の一部のサーワ自総の一部を新原料二件化 大型定價金二十錢各一個定價金十錢

三十五銭

四鮮時代の登場

總督初め事業王⇒太鼓判

かり 交換館から 一日間南し 水害功勞者

[前刊] 昨年八月十四日夜前刊一 表彰傳流式

とで、この際が異として | カードや。「カード車」で導力画 | 密収能でこれが関節式をとで、この際が異として | カード車。「カード車」で導力画 | 密収能でこれが関節式を 帝を襲つた範囲のため無心川が増 ので消州署では四日午後一時か 水し市内の下水は汎濫して清州町

ア人田の整理

慶北山林課で調査を開始

五ヶ年計畫で實施

象山曾頭の土産話 何事から金一封を投與し改彰し 要、到领班、西过^{在水}边。四州通 但约消水町村繁来、将冠来、 縣 命を期々す活動しその斯勢順番な

【仁川】四日午後六時過ぎ居町一一た、同文部の役員は左の通り

人夫感電即死

阿式を即行、南則を御識の上宮崎 【隣川】去る三日正午から都記憶には、「大田」との三日正午から都記憶

跳マーケットに住向けられる行産 「編津」東北南武の開選につれば は羅爾島間を目指してドシド ン流れ込み一

種豚として百十五頭を輸出

注文殺到に鼻高

型标》主本出記、命治**水平符页**

宋椒

限勤勞 任忠光道上不投手、爾內務部土木 任忠光道上不投手、爾內務部土木

| 「大田」語画駅が顕微で大好館を一の弾走により昨年中に質点の気に らう | 「大田」語画駅が顕微で大好館を一の弾走により昨年中に質点の気に | 特の収度機能を目標に能来が促進 たつてみたが去る三日からいとい 可四丁目規即模式観響階級人を起き たつてみたが去る三日からいとい 可四丁目規即模式観響階級人を起き (大田) お画駅が顕微で大好館を一の弾走により昨年中に質点の気に うっときる こちょ ころたこ | 大田 | お画駅が顕微で大好館を一の弾走により昨年中に質点の気に | うっときる こちょ ころたこ 四ヶ郡から牝州五頭、牡八十頭、 三十二語版、輸山、天安、牙山の

紀の遺跡ランプは姿に消し

十四年の修物品を決破してみたり

たが非今は附 地山圏の覧占 時は部色七島

配船よろしま

申前均至月面推月里第三金光秀。飛についてそれた「勝頭があり間」をつよけてゐるが、佐夢連はこの風命三姿皆優都只面獻牛电第四。いて、數護會館木塘單から保護壁「取師の時期を甦け大々佐顧第五年 **呆城救護會** 發育式聚行 を激した平周追衛生部では箕下名。にして一人鎧さず樹揚すべ一年第一個強師費牛切の短短に素しるので回動では取締りを一 を能定的に一様すべく昨秋来長期 平南で取締に大重

质州支部

研究性等を開催し相信効果を指摘 の議典に関する各機関の機能を設 と研究會 忠北の企て

効果的な取締方法を研究してゐる にして一人程さず構造すべく日下

豚滿洲行

例年の通り採研客のために「山の郵便所」が左の五ヶ所に を開いた若葉の金剛山には

お山の郵便所 新線の金剛に

さ と

は

膚

部に

表

皮質

バイキンが

例年通り五ケ所開設

一時者等最高に延龍前決定を開節出 館を指案し十二手取合明部的影響 忠北辭令 病氣を植るた

1 ,

層層、

種 7層

(中央化) (市内花部主木) (市内花部主木) (市内花部主木) (市内花部主木) 險信號です

層の病氣は 療法でなければ

本當に治らぬ 大朋の器質機能は全く巧く出来で 野るも

百年明十一時半から同根合構内

まって伊藤以納郡技より優良

(伊藤以納州共代籍) 後間は 一旦で出外事代用母を興宜

一部を引見して次のやうに配った、氏は朝鮮に縁故の深い人、配

牡丹江の物凄い發展ぶりは

世界上小四四十種所の反

、られる今日、歴間山の柳柳似

と有する點からみても最も重要

あたり所開展別の緒い夕陽の物料

特別は最近四ヶ年の中に突如と の師が作かれようとしてゐるが解

申込期日 豊

主

催一京城日報長湍支局

品の豊富(副賞京日メダル)

全長湍阜球大會

長温那廳構內

一人五十銭 (但し徳食を呈す)

五月十六日 (丘曜) 午前十時から

の過佳線は北部三正を抵領と結

国党に行ぶ 社乃江を終て復済縁に出て蘇南 に研究を整すべき好価の標準なの 一百個八匹二十分編門解を旧蔵 のであるから、一行にとつては誠

よこの経済 線を培ふ 超遊網にの他の三部もそれり、着手、即

草分け丹羽氏の功

第四日間に一泊と一行は廿

四

報

位だ、やがて生物にし入る、時に

米院の耕作組合で

獎勵金品の交付式

煙草優良耕作者

した、この脱斑にようで現在の民」の三年保度で熱田化すべく具種的。で発行し間二原原式後間銀合事務上を図ること、し基個観客を開始。對しては農康の賦化によって利用。對する樊噲気炎行式を開航合廣道

耐酸が進められてゐる

勝て火田を精田化し火田民の何の手上自可が五千戸二萬四千人に

おける大問題なので既北山林殿

て現金収入を得させ、耐火器田化先づ店を揃紋せしめ副業を奬動し

の徹底を期すもので、なほ半瀬田

【顕刊】加水地作組合では去る三

廣州も擧行

里並允根、都尺面圖牛由福 資村面簽項里自定基、同面 資村面簽項里自定基、同面

なほ説影された侵良質行酬と紅花

『日減少→何等影響な~ 萬圓も増收

【大印】福五の好況が反映して盟しその他が制取にによって各種収し続け上地の環境質別等による言 の自然型吹であり、それだけ好況 トの慶北道

部門」を開催することになった の介閣では事態的主能で「草族品 の介閣では事態的主能で「草族品 [亡川]四月中における以前局に

の過步に伴ひ本春の麓炉脱虎は原の過步に伴ひ本春の麓炉脱虎は原 **地子ると共に反訴。・強の増** 【永间】柳山公立曹通學校は校會 属的したのでかねて有志が欧築

くさ、たゞれ、はた、硬い皮膚を顕微して一般にカサブタを作

たむ
皮脂腺や毛穴を傷つて、皮質内部に踏み強

つてゐる機な服でも弱々と派遣して、映い

水虫、つて名跡い『皮膚ナヤージ』は、つけると

全身タムシ

腐病、

世を別に思まれた天候と共活以前

拍車をかけることになったが

ヨンの八千三百四十週である

ボンと一萬

堀山郡を加へ耕作反那を十十町が 二萬七千六百二十町、つぎはビジレ製館中であつたが本年度はほに らしい景楽で報題は勤然マコーの

殿山、扶除の五ヶ郡三指定人と六十七百七十四増といる楽明

忠南では何來大徳、西 kg 三百三十一圏で前年同月に比しな

▲中要山準等級者長 器相方面へ

大田】建修学版の標準は単に自一用連葉版資所の寮上高は五萬九千

技術の向上を圖る

品評會を開催して

り増殖

氏の献は低勢力が取って力あるも「細物能つてくれたが父この人を指 シネマと演劇

毒虫、顔のあれ、ボ 殿さ、第ちされた内部を細葉に乾錠する事、し、二十七、吹出物、り、パイキンを殺し、バイキンの行物を慰し

のがあるのを思れてはならない

同比は牡丹江質菜公司を聞きべ多」昭和十年一月一日小學校が開校セ

いて他に題り得る人もなからう、

の公職を有する有力者であるか性

ねむれぬ

は相互激烈なものであつたが、

昭和七年 五月七日の宮地の 歌詞 名といよ謝地振りを示してゐる、

され

はっと 一、意ゝめが速い 一、痕を選さず 一、痕を選さず

指摘でスリ込むたけで、上字下手 化したもので、使用法は至つて邸 化したもので、使用法は至つて邸 【全護薬店にあり】 なく効果があらはれます。

東京市韓田温祉房町

九州郵船出張防

*· 山崎帝國堂

九州郵船蟹出張所

· 一題。三國。王 十四 三國。王 十四

家庭は勿総・最近暦の間で唯んに似はれ郷原版に内部から作り絶へますから、一般

節語な結果を得て困られて困ります。

他の藥とは、こ れだけはつきり

遺ふ。

のて、パイキンが、皮質に開着して、耐熱

皮膚泌尿花柳病 協明 子がの音がは 消化吸收の見 量的加工で内に ものは全部吸收され、従って化してあれば、それだけ消化 ミツク肝油ドロツブスの 、常るので、種々の附油の一画分の服用量に散ゆであることが影明されます。 之は背に散ゆであることが影明されます。 之は背になった。 なけんゆざい ふれば効力を益々大きくする事が出来 りに湿いのです。だからその點を充分 でからその點を充分 5 ふ事が棚盤と押つたのであります。れは間違ひで、今日では暫に乗事ハビセの勢力の原因は、以前には脂肪だと ても一個経難であることが判ります。 を持つので、だによってピタミンの母 等の緊急な荣養素を最も合理的に配剤 完全緻密に乳化してある消化吸收滿點ツブスは五ケ國特許の製法により、ビ 7十二分に効果を増す道準であります。低が軽く、腎臓が弱らないで、脱んだが起るのでありますから、縮めから乳 は消化が良いかと取しますと、總で油 電調の侵入を防ぐ目的に、昔から肝油・2の呼吸器病を始め其他萬般の病気に **こ**らぬもの れば、ミツワ肝油ドロツブスが難にビ 登弥果は一層だきいのであります。 問恩要學は無價値だと云ふ事になりま 日だ等と云ふ人があります。 旦霜化した上でないと曖昧されないも るでに からじら 5乳化離で、貼ちミツワ肝油ドロツブに胃腸の鰤によいとは云へません。 統之に研究により酵母ビタミンB· 折つても結局それを乳化し切れない 油なれば分量は少しで良い辞です。 ド油肝ワッミび及署明設献文 記を名間断、品本見スプツロ 呈送第次込申入討簑五券郵し 部品薬・店商屋見丸 舗本鹼石ワツミ◎ 高輪 錢十五圓四 入墨顆百三·錢十二圓二 入星顆十二百 **價** ○三・一二 一 芸代花浪話館 ヤミ〇 略覆・缶○一上 京東告題

通行は危險鐵道線路の

大山火寧現場の略

由に持ち運びの出來る

海へ山へおひとついかべ

を使付し間別住宅か得近東

京一四川され、延甲五甲、昌 根はスレート、野荷士や小 草子のあるボーチとはじめ

八角の腹壁もある。

(上) は外観(下)は室内

計所では正殿道一宿の繁繁につ

やぼり、内側大井はテック

東海岸の烈風は

今朝まで續かう

第四日戰蹟 實業庭球リーゲ

◆第三ラウンド

(N)

けふの天気

手男ーグ

仁川・觀測所の話

のとなり二隻流失し、なほ高城郡下でも行方不明十三名、死者一名、薫傷者三名漁船(月電話)四月後/1983年 東京 は 日本 の漁船 一十七隻は行

行方不明十三名、死者一名、薫傷者三名漁船のほだれ。襄陽沖に出漁中の漁船六十七隻は行方で

船から総道線路の通行者の増

おばあさんにだつこされ表形式に繋ばせながい最高々のお貼さん、

同記念版をして午後三時

八の酸射を示

れたの健康赤もやんのが明れ智

神宮參拜者

健康見の表彰式

鼻高々の母さん達

五日のお節句是動朝鮮本部ではる

た、三個際が局投夫人、松島一時から明治町堂婦功能屋で

折紙つきの

堂

燃える

附近の農家三十一戸≧類燒 死傷者七名を出す

午後五時)暇んに延购中であるが、この火災において附近の農家三十一戸を焼失、避難民中四名は逃げたが及ばず火は緊ਆの借出面及び代域間の山林に延収・五日午前八時までに 既に九千町歩と婆ぎ輩し具下(五十米の烈風に煽られ見る見るうちに 四方に延焼し消崩退及や緊硬を診察観響で突発の消炎に緊 を失ひ燒死を遂げ消防中に火傷を負ふたもの三名に鐘し何れ 鄭山南嶽 東京帝大農學部演習林より 發火し折柄風 動し必死の消火に努めてある 危篤である、

火魔の跳米に委す外はな

のと思う、既に雄失したと云はいれ大正初年ごろからあつたもら設定され確實に記憶してゐなー 入城中の堀江原道山林課長談

の職で都有の大山火事の飛電第一後七時間米倉司泉城クラブの宴會 間席のため上城中であるが同日午

隣接する否健時には官有林があ一緒のやうな美しさ――祖智林に

7/

W)

安遷、徳源兩郡を舐め

兀山府有林に延焼

|延続中の東大演管体には多数の大||火田民の火入れ時ではあるし生活 心細い救援と連絡

公衆電話では呼出し時間を相言要 糖、本所整緒局との連絡の途たく 糖、本所整緒局との連絡の途たく こい間、、うついつい、位が上野」 を無工と化し、三日は鏡瀬戸が上 林は約四百町歩を嫌いたが、小笠、スロモーションで敷披、連路は質 を無工と化し、三日は鏡瀬戸が上 林は約四百町歩を嫌いたが、か山市を有しため部落民を瀬畑に出すといふ 風に届られて火盛物法く哨匙一番 なほ延続中であつた、元山市を有しため部落民を瀬畑に出すといふ が創造はれてゐるが、たにしる所 に心細いものである、江腹道壁に いため部落民を飛脚に出すといふし勿喩山元近くには連絡機励がな 面の國有林から続した山火事は然。したが、宏揚龍は五日夕に至るもの西の國有林から続した山火事は然。したが、宏揚龍紋大、五日拂ං鏡危機を脱っ **師に延嫦、斑に四日午後三時ごろ「鑑恵兩郡を合せると三手町歩以上**

の関係方面は深い疑いに包まれて 五日夕引第二面天食馬工日夕引第二面天食馬 || 松に啜めた結果、間夕割ド有杯だ「五千國の貢獻の茂埋めに日本動産「代書を着まれるや、これ幸ひと収合は「百名を終り出して必死の消 || 公字|| に 硬っさる | な人々から財産問題等で訴訟等の 看林に踏上掘った、急報に接した

放火眼鏡屋

公判に廻さる

も断く第一報を入手したのみで略

整計と生び禁る老板は

山田耕作氏

鐵道局異動 僕等のお節句嬉しいな

終りました(最高は同効程はの遊戲) 見が天真偏慢の遊戯に興じ所ましい男の面句を配つて正午版やかに し可愛らしい坊ちやんやお客様になったお飯ちゃんなど、

著品品

在公告熱地 明和拾加平点月 查 班 11 查 世 共同受证管理

林朝朝 式 部 官 電

のでは、 のでは、

明和十二年五月 「京城・岡山縣人會事務所をかびます。

於町二三夏花長思方 思統北門 五五 原城,岡山縣人會事務

翻

明治座

決定、正光諸國族と共に来る中四、物長、

日地改良事務所長の世紀に作る質

能財地

だ透送気電

正直クレヨン

◇天長征御兵式 ◇文化動章投展式 ◇卑暦ボートレース ◇軽滑使節出級

午二十頭、糧食等を採奪

貨車と衝突

節 入 意 院

和語本品(2000)大衛

帰

院

七酒

島井病 赤一

^{亦一}院

紅齒式椎醬脈鮮朝筆鉛球地

图九六五一(²)局本都就 一世目了二町本幹號章 社会式供证则革给本日。 郭

題を題は、即町が開引と経路形閣 分ごろ平壌府暦バス第一六號

◇美人型コンテスト

パスは大破

6の忠縁は三長より西方に向いりずりそう。 から出動した三百名の顧謝繁繁麟と連絡、西北から行入儒の百から出動した三百名の顧謝繁繁麟と連絡、西北から行入儒の百分に三長志村署長の戦ると八十名は東孫龍満にあり、百月師代総行三長志村署長の戦ると八十名は東統行に下、日下謝 檢事から求刑

同米選事件は原城地方は一昨年五月から七月にかけて西京城 兩被告に死刑

はくさいの状を地能率で新規等の「所から悪代本人の最高が破べ葬込むが中には遮墳代導入ものて無質を行はしめたところ、資河資産指行総裁土等約三百名の代書人が展した観路数ではを素致にこれが円金 というとの罪を探知し 多数あらりつこれの利を占め被害者は むのでピックリし、 著では野平思代書人の征伐に棄出多數あるものとみられるので、同 多数あるものとみられるので、

各地有名食料 本福 特製







是学的原形性所述

※ 同口等内 TO SESSE

告に限り特に姿団にて困惑す題五十段匿名は一回毎に五十段匿名は一回毎に五十四五十段匿名は一回毎に五十四五十段匿名は一回毎に五十

帽

方能文等 が上、経度にて金色燦 | 1 文 | 辞載士の栄達機高

校外新學生(募集)昭和十二年第二期

Mark From 帝國法政大學院

化柳病專門

安價で

門に合い

一番 人 生耳利別肝肉憂に変

市川 河梁 床式 前金町 聚拓內

照育ありたし、但し問合せは五月 一般 一時間 大りの方は来談文は打取

高有照 位

こうそ

(元主) (元主) (元主) (元主)

元 羽 由 解 射 合 ぞ う こ 城 京 ・ 所 結 配 ぞ う こ 英 朝 ニー 回 丁 三 即 本 の 版 京 ・ 所 結 配 ぞ う こ 英 朝 ニー 回 丁 三 即 本 の 版 京 ・ 成 銀 工 火 を 店 来 る 著 内 市) 毎 一 四 五 五 番 一 八 七 島 木 成 最

御に店寮員合素酵糕京は合場き焼り入に子編でR方地 担債料送Vさ下文註

(織組7)以5店票名着内市)

Ŧ

の似い森 舞うファ

H K K

——價格最低廳有効第一款に ——— 赤翔夜翔 (食

スリバ

在 **山岸天佑堂** 金島 本 局 國 三七 三世 報替 高 城府 本町丁目 10 三世 11 0 三世

金剛

會合 社資

工事請負

京伊藤保溫工場朝鮮所

邮申込天軍軍小選共定價投送呈

南京城市大地流

貨百

京城永樂町一丁自戴發地(電話本局(2)二)

內科一般特二 医肾髓



批會式條油餐田野